



きたなかぐすくそん

北中城村

議会だより

News from
Kitanakagusuku
village council

令和6年の月例議会

110号
2024年8月発行

食の安全と安心

平和
の歩みをつなぐ

今!学校で
起こっていること

公園で遊ばない

これまであたりまえにあったものが
なくなりつつある。多様性を尊重する
中で個々の利益が先行し社会性が薄
れるというジレンマが生じている。

安全
安心

目次

- 一般会計補正予算・質疑 2P
- 陳情、決議、意見書 3P
- 所管事務調査、議会活動報告 4P
- 一般質問一覧表 5P
- 一般質問 6~15P
- シリーズ戦の記憶・頑張る海人さん
編集後記 16P



議会HPは
こちらから
Check!

■施設等修繕費 129万円

質疑：問 中央公民館の雨どいの修繕費だが、昨年も補正予算で防火設備や舞台暗幕、空調設備への修繕も行ってきた。老朽化比率が80%を超えている中で今後さらに修繕等も増えてくると予想される。建替えの話はどうなっているのか。

答 老朽化がかなり進んでいる認識だが、建替えについてはまだ進んでいない。



修繕費が嵩んでいる村立中央公民館

私から一言！

小林祥宏

北中城中学校PTA会長 島袋在住

■各学校で日常的に軽作業が出来る用務員を配置してほしい。学校の環境美化と先生方の負担軽減になると思う。

■研修費負担金

■ハラスメント講習、防災士講習費

35万円

質疑：問 防災士の資格の講習料は、何名で負担割合は。

答 総務係職員2名で5万円全額負担になる。人事異動しても協力体制が取れるように多くの職員が資格取得できるようにする。

質疑：問 職員以外で地域住民にも広げるべき。

答 出来るだけ早く取り組めるようにする。



..... 請願・陳情・決議・意見書

請願・陳情

■陳情 第6-3号

訪問介護費の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情書

□陳情者：沖縄県社会保障推進協議会 会長 新垣安男

■意見書 第4号

訪問介護費の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書

■決議 第4号

米軍人による少女拉致暴行事件に関する抗議決議

昨年12月24日、嘉手納基地所属の米空軍兵長が本島中部の公園で16歳未満の少女連れ去り、同意なく性的暴行を加えたことが報道によりわかった。

本議会は、米軍による事件・事故が発生するたびに抗議を行ってきたものの綱紀粛正などの取組みの実効性は全く見えておらず、抜本的な方策を講じ、具体的かつ実効性のある事件・事故防止策を実施すべきである。

■意見書 第5号

米軍人による少女拉致暴行事件に関する意見書

採択

可決

可決

可決

決議・意見書



6月定例議会

補正予算

..... 令和6年度一般会計補正予算

令和6年度第6回6月定例議会は6月19日から27日までの9日の会期で開かれた。

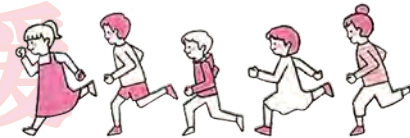
既定の歳入歳出予算の総額に232万円を追加補正し、一般会計歳入歳出予算の総額が91億8,739万円となった。

主な事業と質疑

■放課後児童健全育成事業

3,025万円

■設備運営基準を満たした支援員を配置したクラブに対する補助及び支援員への処遇改善を目的としたもの。



■北中城村役場

マイクロバス購入事業

1,023万円

■老朽化したマイクロバスを新たに購入することにより地域住民の教育活動や地域交流の推進を図る。

質疑：問 なぜ当初予算で組めなかったのか。

答 修繕しても厳しいということで車両購入となっている。

■村指定ごみ袋製作委託料

173万円

■村指定ごみ袋のデザイン更新と利便性向上を図るため、袋に取っ手を追加する為の製作委託料になる。



質疑：問 製作委託料が割高のように思えるが何社から見積もりしたか。以前は取っ手をつけて容量が少なくなり不評だったが。

答 3社から見積もりをとった。取っ手は付けるが容量はそのままである。

※質疑は抜粋要約して掲載しました。

■コミュニティ助成事業

■地域防災組織への育成事業費として北中城団地自治会自主防災会へ。

200万円



私から一言！



山川 章さん
美崎自治会長

■北中城村は海岸エリアに5自治会、高台エリアに9自治会ある。防災の日を制定して地域に合った防災訓練や対防災策をすべきではないか。美崎自治会は海拔が低い中で、保育園やデイケアセンターもあるので、地域の実情に合った防災訓練を行っている。

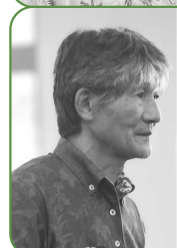
村政を問う!

インターネットLIVE中継や録画も配信中!
議会議場でも傍聴できます!

一般質問者
14名中、10名が登壇しました



- 村の様々な取組や課題等について、議員が提案も含めて、村に考えを聞くのが「一般質問」
- 一般質問の議会要約文は本人執筆、議会広報委員会でチェックして掲載
- 各議員氏名上のQRコードから動画がご覧いただけます

 平山 和実 議員	① 平和行政 ② 給食行政 → 11P	① 子育て環境 ② 防災連絡会議後の対応 → 6P 比嘉 悟 議員
 上間 堅治 議員	① シルバー人材センターの運営状況 ② スクールバスの安全運転管理に係る届出状況 → 12P	① 通級指導教室の設置 ② 本村小中学校の父母教師会(PTA)の現状 → 7P 比嘉 正志 議員
 山田 晴憲 議員	① 平和継承 ② 児童生徒の通学路の安全安心 ③ 障害のある方、高齢者の方の安全安心 → 13P	① 災害時の避難行動、低地地域の避難対応 → 8P 大城 律也 議員
 喜屋武 すま子 議員	① 自治公民館に事務員を配置 ② 平和月間の創設 → 14P	① 学校運営の評価と学校を監督する機関としての役割 ② 村長公約達成度 ③ 沖縄県が新たに打ち出した給食費無償化 → 9P 喜屋武 功 議員
 川上 龍太 議員	① 公園のあり方 ② 街灯・防犯灯 → 15P	① アリーナ建設の断念後の計画 ② 村民体育館の運営や施設等 ③ 国道や県道の壁の落書き ④ 道路沿いの電柱 ⑤ 嘉手納基地からの騒音 → 10P 比嘉 義弘 議員

議員全員による現場視察

所管事務調査

農を活かした健康・福祉の里づくり事業(ユニバーサルビレッジプロジェクト)

■【調査日】令和6年6月26日 ■【調査場所】荻道地内

本事業は、本村の荻道・大城地域で、バイオガス発電施設、農家レストラン、農産物直売所、医療・福祉施設、滞在型市民農園、優良田園住宅などを展開していく大型プロジェクト。その第一段階である、バイオガス発電施設、水耕栽培施設、学童農園の現場を全議員と事務局職員2名で視察。事業主であるEM研究機構から説明を受けた。

工事終了が今年度9月、本格稼働が令和7年1月を予定している。既に、現場の隣にある三育小学校の授業と連携しており、今後は村立学校とも連携していく予定。



交流活動報告 民生委員児童委員との交流・意見交換会



■【日時】令和6年7月3日 ■【場所】村社会福祉センター

民生委員児童委員からの要望により、村議会議員、民生委員、村役場福祉課長、村社会福祉協議会職員による交流・意見交換会を行った。

初めに、ニュースポーツ「モルック」を体験。初めての人も多くいたが、楽しみながら大変盛り上がった。「モルック」終了後は、社協の取り組みや民生委員の現状と課題の説明を各担当から頂き、「民生委員と議員が一緒にできる地域づくり」をテーマに、ワークショップと意見交換を行った。

平和活動報告 世代を超えて 共に祈り! 紡いでいく!

■【日時】令和6年6月23日
■【場所】糸満市摩文仁(平和祈念公園)

北中城村は昭和57年に「北中城村民は、平和憲法を守り、この村を永久に非核地域にすることを決意する」という北中城村非核宣言をした。また平和行政を推進していることから、「平和の礎」を読み上げる活動や毎年、議員、各自治会長、平和を守る村民の会、村役場職員、遺族会と北中城中学校2年生4名で沖縄全戦没者追悼式に参加している。中学生の4名は長崎県で行われる長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典へも派遣される。

糸満市摩文仁の平和祈念公園では、生徒らと共に平和祈念資料館や平和の礎を見学し、追悼式では沖縄県知事、県議会議長、県遺族連合会会長、内閣総理大臣等の平和宣言やあいさつを傾聴した。





詳細は
動画から
チェック!



ひが まさし
比嘉 正志 議員

好きな色
ロイヤルブルー

好きな花
かすみ草

北中城村の好きな場所
大西ゴルフ場から
東海岸を望む夜景



用語説明
※ADHDとは、医学的な診断用語で、不注意、多動性、衝動性という3つの行動を特徴とする障害。

通級指導教室の設置を急げ

■教育長
よりよい教育環境を整えていきたい

問 通級指導教室とは、小学校または中学校の通常の学級に在籍している軽度の障害のある児童・生徒に対して、各教科等の指導を通常の学級で行いながら障害に応じた特別の指導を行う教室のこと。

答 間違われやすい制度に特別支援学級があるが、知的障害が含まれないものが通級指導教室であり、対象の児童・生徒は通常の学級で授業を受けながら週に1時間程度のカウンセリング等を受け、個々の対応を行っていく教室のこと。

本村の小学校に※ADHDに対応する通級指導教室の先生は配置されているか。

答 中学校ではADHDに対応する通級指導教室の先生は配置されていますが、小学校にはADHDに対応する先生は配置されていない。

問 本村教育委員会は地域すべての大が子ども達の成長や教育に積極的に関わっていくことを誓う関わり宣言を公表し「わった〜わらば〜学校」を合言葉に村ぐるみで子育て



「わった〜わらば〜た〜 わった〜学校」の実現を

問 通級指導教室の開設を早ければ本年度内からでもやれないか。

答 誰ひとり取り残さずとも達だけではなく、全ての児童生徒に同じように教育を展開していく教育方針を立てて日々、学校への指導助言や支援等を進めている。通級指導教室の開設については、一人一人の子ども達の教育ニーズに合った展開をするためには必要なものだと認識している。

問 父母教師会(PTA)加入率低下の問題についてどのように考えるか。

答 父母教師会(PTA)加入率の低下については危惧している。教育委員会と行政もタイアップして取り組みたい。

問 父母教師会(PTA)の現状は

答 教育委員会と村長部局で協議をしながら、より良い子ども達への教育環境を整えていく。職員の配置など早めに取り組んでいきたいと思っている。



詳細は
動画から
チェック!



ひが さとる
比嘉 悟 議員

好きな色
緑

好きな花
桜

北中城村の好きな場所
1月〜2月の桜小路(石平)



用語説明
※業務継続計画(BCP)とは、自然災害や感染症のまん延など、不測の事態が発生しても、重要な業務を中断させない、または中断しても可能な限り短い時間で復旧させるための方針、体制、手順等を示した計画書。

子ども医療費助成事業の対象年齢拡大を

■村長 必要性を感じる。見定めて判断したい

問 新設こども未来課に村の出生率向上に向けた取り組みはあるか。

答 家庭ケアの支援を強化すべく、相談支援体制の強化に取り組んでいる。

問 若い世代の地元定着をどのようにお考えか。

答 安心安全で産み育てる環境を整備していく。

問 お子さんを連れて来庁する方を目



新設のこども未来課

問 小さなお子さんが急に自動ドアを飛び出していく事案があり、検討していく。

答 不妊治療の助成を導入してはどうか。

問 検討し、判断したい。

答 必要性を大変感じている。見定めて判断したい。

問 4月3日に津波警報が発令され、県内各地で様々な課題が浮き彫りになった。4月15日に防災連絡会議が開催されたのは迅速な対応だった。そこで出された課題・要望等に応じてどのように対応するか。

問 広報誌に防災に関する記事を掲載し、防災無線は故障状況を把握し、修理を依頼。今後も関係機関と連携しながら防災・減災に努める。

問 2019年3月作成の北中城村防災マップ、2021年開通の県道81号線が反映されていない。見直して改

問 現状に合わせて改訂する必要があると思うか。

答 現状に合わせて改訂する必要がある。

問 緊急時にはサイレンから。初動対応のため、サイレンが鳴ればテレビ、ラジオ、スマホなどで情報を確認するということを村民へ周知徹底して欲しい。

答 できる取り組みにしたい。

問 村内企業や事業者等に※業務継続計画(BCP)の周知を。

答 商工会を通して情報発信を考えている。



詳細は
動画から
チェック!



きゃん いさお
喜屋武 功 議員

好きな色
紺

好きな花
ブーゲンビリア

北中城村の好きな場所
我が家



用語説明
※公約達成率とは、選挙の時に候補者が示した具体的な政策マニフェスト、方針、数値目標がどれだけ実現したかを示したものである。

今学校で起こっている由々しき事態

■ 教育長 法に触れる事案があれば
処分も含めて検討

問 この数年、島袋小学校において、幾つか不適切といえる事案が聞こえてくるが。

答 直接保護者から教育委員会に電話等の問合せがあった時には、確実に対応していく。

問 1つ、雨の中決行した運動会だが、あれは安全上よくない。見学に来たお年寄りが滑ったりしたら危ない。また、コロナ感染症が5類に下げられたとはいえ、密集した体育館での食事は問題ありだった。また、青年会のエイサー隊は太鼓や三線も雨に濡れながら演奏させられていた。

2つに、1年生が授業中に脱走。見つかった時に、シャツの首根っこ部分

を捕まえ、お尻を蹴りながら移動させられた。3つ、ある生徒が学校で怪我をして保健室に行き、保健の先生の名前を言えなかったので帰され、



不適切事案が聞こえてくる島袋小学校

問 全く適切ではない。事実を確認し法に触れる事案があれば、処分も含めて検討をしないといけない。

答 後日、朝会で「保健の先生の名前が言えないバカたれがいた」と言った。徳村教育長、今までの経験の中でそういう指導は適切か。

問 選挙において公約は住民との約束であり、執行機関の長である首長の権限は強く、だからこそ公約達成率は

問 孝則村長の※公約達成率は38パーセント

答 議をしてアンケートを実施したい。

問 いろいろな事案が起こっている。学校の先生たちも苦しんでいると思う。アンケートや意見を聴取することができるか。

答 私就任当初はコロナ禍真っ只中で、住民との対話が難しいものがあつた。ある程度の進捗については大変迷惑をおかけしたと思っている。今後についてはコロナの影響もないのだから努めて参りたい。

問 とても重要。孝則村長の公約達成率について、村長の3年半前のチラシを基に見たら29政策の内、完了が11、進行中が9つ。未着手が5つだが、それに対してどう思うか。

答 私の就任当初はコロナ禍真っ只中で、住民との対話が難しいものがあつた。ある程度の進捗については大変迷惑をおかけしたと思っている。今後についてはコロナの影響もないのだから努めて参りたい。

詳細は
動画から
チェック!



おおしろ りつや
大城 律也 議員

好きな色
青

好きな花
ブーゲンビリア

北中城村の好きな場所
基盤目に広がる石敢當と古井戸が散在する熱田集落



用語説明
※自主防災組織とは、災害対策基本法第5条2において規定されている。主に自治会が母体となって地域住民が自主的に連携して防災活動を行う任意の組織である。

津波警報時の避難行動への対応は

■ 村長 防災無線で繰り返し避難を呼びかけた

問 4月3日午前、台湾東部で発生した地震で気象庁は沖縄本島、宮古島、八重山地方に津波警報を発表した。本村東沿岸部の低い地域に集落や住宅地が存在する。(熱田、北中城団地、和仁屋、渡口、美崎)津波襲来時の避難行動は困難が予想される。行政、消防、警察は素早い判断が求められる。各所で高台に避難する車の渋滞が見られた。本部町、宜野座村は避難指示から最も警戒レベルの高い「緊急安全確保」に切り替える対策をとった。避難呼び掛け後も沿



津波警報を受け避難した区民(熱田自治会指定第3避難場所)

岸沿いの地域に住民が残っていないか公用車を使って避難周知を迅速に実施している。本村の対応は。

答 本村では、津波警報発令直後から防災無線により繰り返し避難の呼びかけを行った。沿岸部地域への公用車による避難呼びかけは、職員が被災する可能性があるため行っていない。

問 災害時に自力で避難することが困難な避難行動要支援者に対して、災害情報の連絡や避難行動の介助など、支援が地域の中で行われる体制づくりが必要である。行政として、要配慮者、要支援者の現状をどのように把握し

ているか、※自主防災組織には個人的情報資料がないが。

答 地震、津波災害に對する災害時要支援者対策の重要性を認識している。独居高齢者、高齢者世帯、要介護者、障害等級等認定された方を要支援者として把握している。

問 津波警報で避難行動の実態は。沿岸地域の熱田、北中城団地、和仁屋、渡口、美崎地域住民の避難行動について、アンケート調査等で実態を把握する必要がある。

答 各字自治会長、自主防災組織の代表者、社会福祉協議会、

問 熱田マーシリー沿岸部の護岸は老朽化が著しく、損壊している箇所がある。海岸管理者に護岸整備を早急に検討するよう要請する必要がある。

答 熱田マーシリー沿岸部護岸の損壊について、中城村の行政区にまたがるため、両村で海岸管理者である沖縄県に対し早期に整備を要請したい。



詳細は
動画から
チェック!



へんざん かずみ
平安山 和美 議員

好きな色
ローズピンク

好きな花
鈴蘭

北中城村の好きな場所
県営中城公園



用語説明

※緑の風とは、「反核・反戦平和の像」である。平和を守る北中城村民の会で、村と村内約3,500世帯から寄付を受け制作。平成8年(1996年)8月15日に建立除幕式が行われた。現在は、北中城村中央公民館敷地内に設置されている。

北中城村民平和の日の制定を

■ 村長 平和の日制定に向け検討していきたい

問 緑の風が建立されて28年の時が過

答 村としては特段で碑を持つていない。各字が行っている。

問 鎮魂に関する式典等は執り行われているのか。

答 六つの自治会で建立されている。平和を守る北中城村民の会でも、平成8年に「緑の風」という平和の像を建立した。緑の風には、未来への展望と去る大戦で痛ましい戦禍を受け犠牲になられた御霊に鎮魂の願いが込められている。

問 慰霊塔(碑)の建立の状況は。



反核・反戦平和の像「緑の風」

問 来年は戦後80年である。緑の風には

答 戦後79年が経って、平和を守る北中城村民の会も41年を経過している。平和という時間が経つにつれて、いろいろな面で平和を考える機会がなくなるといふことも考えられる。その為にも平和の像を大切に守っていかれたらという感じである。

問 給食で使用されている食材について、除草剤等の検査はされているのか。

答 お米については残留農薬検査、DNA検査、カドニウム検査などを実施したものを使用している。野菜については、

問 学校給食における食の安全性は

答 県内で平和の日を制定している1市3町の状況を調査し、北中城村平和の日制定に向けて検討していきたい。

問 農林水産省が策定したオーガニックビレッジの事業に対する本村の考えは。

答 各市町村において有機農業の生産から消費までを一貫して農業者・事業者・地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取り組みを進める事業のことと認識している。村内では法人3社が有機農業の推進に取り組んでいる。

問 農薬使用履歴が分かる防除日誌のあるものを使用している。

答 騒音問題や事件事故を含めて要請文を出しており、沖縄県と27市町村で構成する「軍転協」からも毎年直接国のほうに要請書を出している。

問 騒音問題や事件事故を含めて要請文を出しており、沖縄県と27市町村で構成する「軍転協」からも毎年直接国のほうに要請書を出している。



詳細は
動画から
チェック!



ひが よしひろ
比嘉 義弘 議員

好きな色
白と黒

好きな花
桜

北中城村の好きな場所
EMホテルから見える(西と東の海)
近くの丘



用語説明

※軍転協(沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会)とは、米軍基地及び自衛隊基地から派生する諸問題の解決や跡地利用促進について、県と市町村が相互に協力することを目的としている。

落書き対策

問 和仲トンネルの落書きが目立つ箇所があり、何とかしてほしいという声がある。管轄は警察なのか。それとも自治体か。

答 村内の無電柱化に向けた計画推進というところで、今後検討を進めていきたい。

問 嘉手納基地からの騒音問題

答 騒音問題や事件事故を含めて要請文を出しており、沖縄県と27市町村で構成する「軍転協」からも毎年直接国のほうに要請書を出している。

迷惑な電柱

問 学校の近くの道路に邪魔な電柱がある。隣接する方から電柱を何とかしてほしいと要望がある。

答 騒音問題や事件事故を含めて要請文を出しており、沖縄県と27市町村で構成する「軍転協」からも毎年直接国のほうに要請書を出している。

問 施設の床はセメントの上に直に床が敷かれているので、クッション性がなく腰や膝等に影響があるとのことだが。

答 今年度も各スポーツ協会事業を実施しており、現時点では利用者からの指摘は受けていない。

問 施設の床はセメントの上に直に床が敷かれているので、クッション性がなく腰や膝等に影響があるとのことだが。

答 今年度も各スポーツ協会事業を実施しており、現時点では利用者からの指摘は受けていない。

問 嘉手納基地からの騒音について、島袋区民から騒音の訴えはないか。

答 騒音問題や事件事故を含めて要請文を出しており、沖縄県と27市町村で構成する「軍転協」からも毎年直接国のほうに要請書を出している。



前村政に建った村民体育館

問 村政が計画したアリーナ計画はいつ断念したか。その後の状況について。

答 アリーナ建設計画については、防災、交流をコンセプトとした多目的交流施設として、当初計画からの施設機能の変更と規模の縮小を継続検討している。昨年度は事業者ヒアリングやパブリックコメントを実施した。

問 村長 多目的交流施設を検討

答 いたと思うが、施設は万全か。前村政の時代に完成したこの体育施設は、立地場所や駐車場、そして建設費等の問題で4回目の議会において、賛成多数で建設することに決まった。

問 施設の上は直に床が敷かれているので、クッション性がなく腰や膝等に影響があるとのことだが。

答 今年度も各スポーツ協会事業を実施しており、現時点では利用者からの指摘は受けていない。

問 和仲トンネルの落書きが目立つ箇所があり、何とかしてほしいという声がある。管轄は警察なのか。それとも自治体か。

答 村内の無電柱化に向けた計画推進というところで、今後検討を進めていきたい。

問 嘉手納基地からの騒音問題

答 騒音問題や事件事故を含めて要請文を出しており、沖縄県と27市町村で構成する「軍転協」からも毎年直接国のほうに要請書を出している。



詳細は
動画から
チェック!

公園のあり方について伺う

■ 村長 十分検討する価値のある事業



かわかみ りょうた
川上 龍太 議員

好きな色
青

好きな花
プーゲンビリア

北中城村の好きな場所
北中城小学校



用語説明
※街灯(街路灯)と防犯灯の違いとは、街灯は夜間における道路状況、交通状況を的確に把握するために設置する照明灯。交通量や歩行者が多い区間に主に設置。
防犯灯は、安全対策として住宅地及びその周辺の暗い場所に防犯目的に設置する照明灯。各自治会からの要望により主に設置。

問 近年、社会全体が様々な課題に直面する中、地方公共団体の維持管理費は減少。公園施設の老朽化に起因する事故も発生している。時代の変化に対してそのポテンシャルを活かしきれない公園も見受けられる。本村においても遊具が撤去され、制約や決まりが多くなっているため、公園の活用が減少、子どもの遊び場としての居場所の減少等、様々な課題がある。そこで、本村の公園のあり方を伺う。

答 本村が管理する都市公園は23公園あり、子どもから高齢者、障害の有無にかかわらず、広く村民に利用され親しまれる公園を目指している。

問 最近、村内各公園に看板が設置された。ルールやマナーについての内容だが、1点「野球やサッカー・ゴルフなどの練習はしないでください」と明記されている。素直な子ども達は公園でサッカー・野球できないと認識。子どもの居場所が失われることに繋がりがかねない事例だが。



村内各公園に設置された看板

問 村民全体が利用しやすいように、施設の整備更新をして欲しい。今後の維持管理の

答 どのようなものが皆さんに伝わりやすいかご提案いただければそれに応じて可能。

問 文章の変更、一部シール等での対応の考えは。

答 ここで意図するのは競技をするレベルの練習。例えば野球は子ども達でも結構硬いボールを使い、周辺でほかの利用者に影響を与える危険を伴うので禁止すべき。ただ、柔らかいボールで遊ぶ程度を制限する意図はない。表現として難しい。

答 防犯灯については、時期更新に際してリース契約の導入、メンテナンス、災害時の早期復旧などの向上に向けて検討。

問 村内集落や村道・農道付近では夜道が暗く、歩くのが不安。今後の対応策は。

答 ※街灯・防犯灯について伺う
ほとんどの公園で老朽化が進行。施設の更新には多額の予算を伴うため、PFIなどの民間活用によりコスト縮減や利便性の向上を図りたい。十分検討する価値のある事業だと思う。

方法は。



事務員を配置している活発な公民館

答 生涯フェスティバル等で公民館活動の展示をしますが、あくまでも自主的活動

問 住民の自主性を伸ばす。民主的に行う。青少年の健全育成、学習活動とか自主的な組織として公民館が担う役割がある。どれだけ各公民館の活動を把握しているのか。

答 各地域の住民によって管理・運営され、住民の自主性や地域のニーズに応じた活動を行う社会教育法に定められた公民館類似施設となっている。地域コミュニティの拠点、文化、教育活動の推進、災害時避難場所の機能がある。

■その他に、平和月間創設についても質問をしました。

答 事務員が必要であれば、自治会育成交付金なりで判断してもらいたい。

問 公民館に事務員を配置してほしいのは、騒音に悩まされている、認知症の方が多いなど緊急に対応する必要がある。コロナ禍で住民が分断され希薄になっている。これから核となるのは公民館活動だと思うが。

で行っている中で、各字の活動は把握していない。

用語説明
※自治公民館とは、地域住民の総意によってつくりあげ、住民によって運営される社会教育施設の一つ。住民自治の場であり、教育と生活の拠点であると言われている。法的には公立公民館と区別し「公民館類似施設」と呼ばれている。



きやん すまこ
喜屋武 すま子 議員

好きな色
青

好きな花
カサブランカ

北中城村の好きな場所
大城集落、中村家、中城城跡



ハイサイ! わった島の 海人さん No.2

安里誠さん(51)
熱田在住



北中城村美崎地区でアーサ(ヒトエグサ)の養殖から製造までを行い、今年10年目になる熱田在住の安里誠さん。梅雨明け後の夏真っ只中、網の手入れをしているアーサ養殖場を訪問した。

通常旧暦8月15日ごろから網を張り、潮の流れでアーサの種が勝手に付くとのことでした。収穫は12月後半から翌年の3月ごろまで続くそうです。アーサ養殖で大変なことは冬の海の寒さよりも収穫前の網に付いている浮遊物(海草や藻などのゴミ)を取り除く作業で、逆に嬉しいことはたくさんのアーサが採れた時とのこと。現在は生アーサ・乾燥アーサ・たっぷりアーサスープ・もずくとアーサそうすい(令和4年度ありんくりん市で沖縄県知事賞(最優秀賞)受賞)などを販売しているが、新たな商品開発も模索中で更なる展開が楽しみです。



シリーズ 戦の記憶

安里初恵さん(88)
喜舎場在住

両親も喜舎場出身で、戦前に開拓のためフィリピンへ移住。長女として生まれた私は戦争もフィリピンで体験した。戦争中は両親と弟3名、妹1人と山奥へ逃げ、大砲の音が近づくにつれ、川や水辺を頼りに場所を転々とし生活していた。

沖縄に引き揚げる前に大分県の収容所に入っていたが、急に生活環境が変わったことで、弟2人が体調を崩し亡くなった。そのことが今でも一番辛く悲しい事だと語った。

その後、沖縄県中城村の久場崎に船で到着し、整列させられ頭からDDT(シラミやノミなどの衛生害虫の駆除剤)を振りかけられた。故郷の喜舎場に戻り、戦後は学校に通いながら親の手伝いをしないと食べていけない生活を送った。

そういう戦の記憶が今でも鮮明にあることで、慰霊の日には、毎年喜舎場自治会の慰霊祭に参加し、刻銘されている2人の弟のことを想い手を合わせている。

「新基地は作らせてはいけな、絶対反対。世界で紛争が起きていることに対しては、絶対に戦争はやってはいけな」強い口調で話したのが印象的だった。

現在は、北中城村老人クラブ連合会のリーダーとして中部の集まりにも参加し、中部地区高齢者民踊教室の会長も務めている。また、ゲートボールや踊り、カラオケを通して仲間づくりが楽しく、まさに平和を実感している。3男2女の子宝にも恵まれ、孫12人、ひ孫1人に囲まれ、みんなが健康で、永遠に平和であってほしいと切に願う。



編集後記

北中城村議会だより 第110号をお読みいただきありがとうございます。

6月23日の慰霊の日、は、沖縄戦の犠牲者を追悼し、世界の恒久平和を願う大切な日です。今年も沖縄県糸満市摩文仁の平和祈念公園で開催された「沖縄全戦没者追悼式」に村議会議員、村役場職員、自治会長、遺族会、また、平和学習で長崎県へ派遣される中学生と共に参加し、犠牲者への黙とうを捧げました。

慰霊の日の2日後、米兵が事件により起訴されたことが報道された。我が村議会も6月27日には、抗議決議と意見書を全会一致で可決した。その後からも数々の事実が明らかになり、愕然とした。戦後79年が経過していますが、沖縄県は平和なのではないでしょうか？

未だに、米軍関連の事件・事故等が後を絶たず、もはや当たり前かのように扱われている現状です。米軍施設が無ければ起きていない事件・事故の数々が繰り返されている沖縄県。

村民・県民が真に安心して暮らしていくにはあと何年かかるのでしょうか？

毎日毎日「平和な日」でありますように...心から願います。

議会広報調査特別委員会

副委員長 比嘉 悟